

IOWN GF専門委員会

中期標準化戦略(概要と目的)

専門委員会・AG名	IOWN GF専門委員会	1/3
登録委員数	55委員(12会員)	
担当するSG・WP等	ITU-T SG5, SG12, SG13, SG15, SG17, SG21	

企画戦略委員
委員長・副委員長/
リーダー・サブリーダー

武田 洋樹(KDDI)
委員長:山本 浩司(NTT) 副委員長:林 通秋 (KDDI)

活動の目的・意義
めざすゴール

- IOWN GFで取り扱われる技術課題を対象に以下の活動を行い、ALL光ネットワークの実現に向けてのプレゼンスを発揮しながら、IOWN GFが掲げる構想や制定技術を世界中に普及させるため、ITU-Tをはじめとするデジュール標準化を目指す。
 - ITU-Tへの国際標準提案活動(アップストリーム)を行う
 - ITU-T既存ドキュメントとのギャップ分析と必要に応じ、検討結果を文書として作成し公開する
 - 日本国内でのIOWN GF 技術実装に向け、適宜ダウンストリーム活動を行う
- 若手人材の育成を目的に、IOWN GF で制定されるユースケースや技術やに関する勉強会やセミナー等の企画と実行を行う。

活動する上での課題
(人材面や運用面での課題を含む)

All Photonic Network (APN)実現に向けた各種技術課題の抽出
Optical Transport Network (OTN)やOpen ROADMなど関連する技術や企画とのギャップ分析
データセンタネットワークやデジタルツインなどIOWN GFが扱う幅広い技術領域の取扱いと専門人材

関連のSDGsゴール

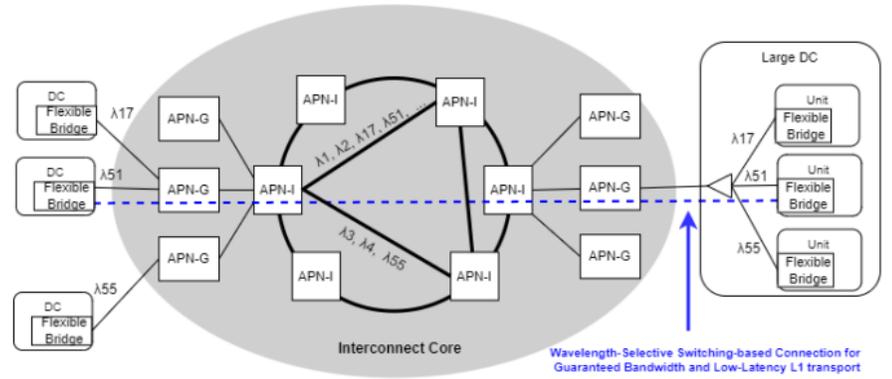


標準化方針

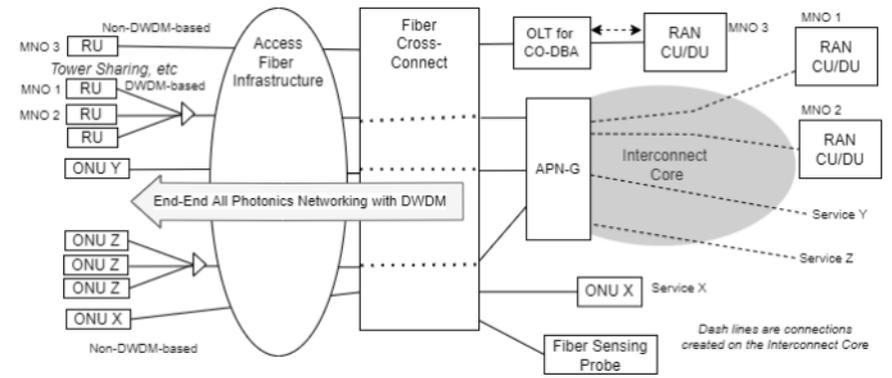
- 将来網に関するアップストリーム活動を総務省と連携し推進する。
- IOWN GF技術のITU-T勧告化に取り組む。
- ITU-Tへのアップストリーム活動における当面の対象として、SG5, SG12, SG13, SG15, SG17, SG21 を想定する。
- IOWN GFに関わる技術課題に関する関連SGへの寄書と対処方針を議論し合意形成を図る。なお各SGのリード専門委員会で承認手続きを行う。
- 当面は専門委員会のみ構成とし、必要に応じてSWG 設置について検討を進める。

国内外の標準化団体等の動向

- ETSI ISG F5Gでは次世代ネットワークに向けたプロトコルのポートフォリオとアーキテクチャを検討しており、F5G advancedではAll Optical Networkが主要テーマとなっている。
- 光インターコネクト技術では、OIFが高速・長距離化やチップ組込(CPO)等の規格化を検討しており、Open XR forumでは全光ポイントマルチポイントインタフェースの規格化も進展。
- APNのノード技術では、Open ROADM MSAがノード管理に関わるOpen API規定等を進めている。



IOWN GFアーキテクチャによる基幹網構成例



IOWN GFアーキテクチャによるアクセス網構成例

<p>新テーマ及び重点取り組み・想定される課題と課題解決に向けた取り組み</p>	<ul style="list-style-type: none"> • IOWN関連技術のITU-T勧告化に向けた検討推進と寄書の作成/提出。 • SG13におけるIOWN GF活動の認知度の向上とアップストリームパスの強化(IOWN GF活動やSG13活動方針の紹介) • APN等IOWN GFに関わるアーキテクチャ検討に向けたワークアイテムの提案、議論を進める。 			
<p>関連する専門委員会または外部組織とその内容</p>	<ul style="list-style-type: none"> • 伝送網・電磁環境専門委員会(SG5、15)、IoT・スマートシティ専門委員会(SG5)、網管理専門委員会(SG12)、Network Vision専門委員会(SG13)、セキュリティ専門委員会(SG17)、マルチメディア応用専門委員会(SG21) 			
<p>主な活動項目</p>	<p>概況指標</p>	<p>2025年度目標(当初計画時)</p>	<p>2025年度実施状況</p>	<p>記事</p>
<p>① アップストリーム 他団体との連携</p>	<p>寄書数</p>	<p>SG13 :2件</p>	<p>SG13:4件(5月オンライン、7月ジュネーブ、10月タシケント)</p>	
	<p>外部会合への参加・連携状況</p>	<p>ITU-T SG13 (10月 見込) ITU-T SG13中間会合(2月 見込)</p>	<p>ITU-T SG13 Q22中間会合(5月オンライン) ITU-T SG13 WP会合(7月ジュネーブ) ITU-T SG13会合(10~11月タシケント)</p>	
<p>② ドキュメント作成 国内標準 仕様書 レポート</p>	<p>JJ標準</p>	<p>0件(予定しない)</p>		
	<p>TS/TR/SR</p>	<p>0件/0件/0件</p>	<p>0件/0件/0件</p>	
<p>③ ダウンストリーム</p>	<p>数</p>	<p>-</p>		
<p>④ プロモーション 普及推進</p>	<p>セミナー</p>	<p>TTCセミナー(IOWN Global Forum活動紹介)(未定)</p>	<p>TAICS-TTC Collaborative workshop ~次世代通信産業技術-IOWNと5G O-RANの技術動向~(5/23)</p>	
	<p>記事投稿、講演会</p>	<p>TTCLレポート活動報告(未定) SG13 会合報告(未定)</p>		

中期標準化戦略(2026年度重点取り組みと活動予定)

専門委員会・AG名

IOWN GF専門委員会

3/3

重点取り組み・想定される課題と課題解決に向けた取り組み	<ul style="list-style-type: none"> IOWN関連技術のITU-T勧告化に向けた検討推進と寄書の作成/提出 (<u>APNフレームワーク勧告について今年度中の制定を目指す</u>) SG13におけるIOWN GF活動の認知度の向上とアップストリームパスの強化(IOWN GF活動やSG13活動方針の紹介) 			
新テーマ	<ul style="list-style-type: none"> APNフレームワーク勧告制定に引き続き、社会実装につなげるためのアーキテクチャ勧告の検討着手 			
関連する専門委員会または外部組織とその内容	<ul style="list-style-type: none"> 伝送網・電磁環境専門委員会(SG5、15)、IoT・スマートシティ専門委員会(SG5)、網管理専門委員会(SG12)、Network Vision専門委員会(SG13)、セキュリティ専門委員会(SG17)、マルチメディア応用専門委員会(SG21) 			
主な活動項目	概況指標	2026年度目標(当初計画時)	2026年度実施状況	記事
① アップストリーム 他団体との連携	寄書数	SG13 3件(予定)	-	
	外部会合への 参加・連携状況	ITU-T SG13 (6~7月予定) ITU-T SG13RGM+WP会合(10~11月予定) ITU-T SG13 (2~3月予定)		
② ドキュメント作成 国内標準 仕様書 レポート	JJ標準	0件(予定しない)		
	TS/TR/SR	1件/0件/0件	0件/0件/0件	
③ ダウンストリーム	数	-	TS制定 TR制定:	
④ プロモーション 普及推進	セミナー	TTCセミナー(IOWN Global Forum活動紹介)(未定)		
	記事投稿、講演会	TTCレポート活動報告(未定) SG13 会合報告(未定)		